

(公 印 省 略)

令和7年9月5日

川西市議会議長

岡 留 美 様

総務生活常任委員長

田 中 麻 未

委 員 会 報 告 書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

総務生活常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和7年9月3日）

1. 議案第49号 令和7年度川西市一般会計補正予算（第3回）

議案の概要

本案は、北消防署整備事業の事業費増額に対応するため、補正を行おうとするもの。

質疑の概要

問 北消防署整備工事の入札が二度にわたり入札不調となったことから、工事請負費を10億4885万円から2億円増額するとの説明があったが、当初予算の2割にも及ぶ大きな増額になっているものと認識している。そこで、予算編成時にはどのような基準で積算していたのか伺いたい。

答 当初予算の積算時点では、当該事業は設計前の段階であるため同施設の図面が存在せず、詳細な工事内容や状況等を反映できないことから、国土交通省の基準や建物の用途・規模、近隣自治体の状況を考慮し、また、特殊な工事内容については事業者から見積もりを徴して積算している。

今回の増額補正にあたっては、令和8年4月からのコンクリートの大幅な価格改定をはじめ、資材単価や労務単価の高騰、及び免震関連の工事、キュービクルなどの建物にあわせた特殊工事などの設計単価を再精査したものである。

問 二度にわたる入札不調により、当該工事のスケジュールに影響があるものと懸念しているが、その詳細について伺いたい。

答 当初、9月議会において当該工事に係る契約締結の議案を提出する予定であったが、入札が不調になったことから事業費の増額が必要となり、新たに補正予算の上程が必要となった。今後、本補正予算が成立した後、再度、入札公告を行い、10月には契約締結に関する議案を提出したいと考えている。また、工期の圧縮は行わない予定で、工事完了及び供用開始が当初の予定より約1か月遅れる見込みである。

問 他の予算規模が同程度の工事では、工事費が当初予算内に収まっている状況が見受けられるが、工事費の動向について市としてどのように分析しているのか伺いたい。

答 建築工事では、材料費の高騰の影響により工事費が上昇しているものの、土木工事では、大幅な上昇が見られないなど、工事内容により一定の傾向はある。ただし、事業者の状況が異なるため、一概に比較することは難しいが、他の自治体においても新築の建築工事の入札不調が多く見られる状況であると認識している。

特記事項 配付資料あり（1. 事業費の増額 ほか）

審査結果 原案可決（全員賛成）